



NPO Honokuni

Forestry Association

Forest

**フォレスト** NPO (特定非営利活動法人)  
Vol. 120 **穂の国森づくりの会**

〒440-0888

愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地  
太陽生命豊橋ビル2F

Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276

E-mail./ honokuni@honokuni.org

<https://www.honokuni.org/>

森林や木材に関連するイベントに参加したことはありますか。昨年8月24日(土)、25日(日)に豊橋市こども未来館ココニコにて「ウッドワンダーランドin東三河」が開催されました。参加された方はいらっしゃいますか。

「ウッドワンダーランドin東三河」は両日で4,500名の方が来場され、東三河の木材を活用した家具、小物、木造住宅の展示や販売などの17のブースが出展していました。週末ということもあり、子供連れの方たちで大変賑わっていました。各ブースからは東三河の地域の方に木の良さや森の大切さを知っていただきたいという思いが感じられました。

次回またこのようなイベントがありましたら是非足をお運びください。

(ウッディ)

## ウッドパーク平尾活動10年のあゆみ

森林レクリエーションや環境学習の場として気軽に学べる場をつくることを目的に、豊川市平尾町内の雑木林で整備を始めたウッドパーク平尾活動。早いもので活動開始から10年が経過しました。活動の様子などは、Vol.89を最初に何度も紹介してきましたが、改めて活動の状況をまとめてみました。

まず、2014年から会員拡大部会(現会員交流部会)のメンバーを中心に自動車を駐車するためのスペースづくりに取り掛かりました。

入口付近の木を伐採してスペースを開くと水路が見つかりました。しかし、老朽化した水路は一部が壊れていて、自動車の侵入を妨げました。そこで、水路を改修する作業を企業会員さんなどの協力を得ながら進めました。これで、駐車場のスペースが整いました。

続いて、うっそうとした雑木林の整備作業に入りました。ここでは、主に



▲ 整備前の様子  
(2014年1月)



▲ 雑木林の整備後の様子  
(2017年11月)

愛知県の2年目職場体験研修の研修生の方に尽力いただいて、3年間かけて雑木林を整備しました。

しかし、ここで最大のピンチが訪れました。整備した駐車場や雑木林をイノシシが掘り起こして、湿地状に荒れ果ててしまいました。修繕してもまた掘り起こされてしまうという繰り返しでした。

そこに朗報が。㈱かんぼ生命さんからこの活動に対して寄付をいただけることになり、駐車場の表面の補強や、

雑木林の獣害防止用のネットの設置ができました。これで、雑木林の樹種転換のための植樹ができるようになりました。

2019年1月にVol.104でも紹介しましたが、「ウッドパーク平尾里山づくり植樹祭」を開催し、コナラ、ヤマグリ、ヤマザクラなどの約150本を植樹しました。

常緑樹林から落葉樹林を中心にした樹種転換をすることができました。



▲ 駐車場などの整備が進んだ様子  
(2018年7月)



▲ 植樹祭の様子  
(2019年1月)

里地の整備が進むにつれて四季を問わず現地へ赴く回数が増え、あることに気づきました。トンボの種類が年々多くなってきたことです。そこで、本格的にトンボの調査と良好なトンボの生息環境を確保するビオトープづくりに着手しました。その成果の一部は、本誌「ウッドパーク平尾の生き物～トンボを中心に～」で紹介しているとおりです。



▲ ビオトープ内につくったトンボ誘致池

さて、当初の目的である森林レクリエーションや環境学習

ができる場としての下地づくりは整ってきましたが、大勢の人を受け入れるための施設整備や各種体験プログラムづくりが急務になりました。

予算などが必要でしたが、ここでも運よく、日本たばこ産業株式会社さんからの助成金をいただけることになり、施設の整備や体験プログラムの実証実験を行うことができました。その一例が仮設トイレの常設やVol.112でも紹介した「ウッ

ドパーク平尾1日森のようちえん」の開催です。そのノウハウを生かして、その後は団体・企業の森林保全活動（CSR活動）や子供たちの団体の受け入れを行っています。

その後、休憩スペースや多目的広場も整備されて、残りの1区画をどのように活用していこうか検討中です。

現在は、原則第3土曜日を定期活動日として、夏は各スペースの草刈り、冬はビオトープの手入れなどを行っています。

参加方法は4ページをご覧ください。また、時々ですが焼芋づくりやBBQ、ピザ焼き体験なども行っています。

入口には、ヤマザクラの大木があり3月下旬ごろ満開を迎えます。続いてツツジ類や草花など、これから里地の春を満喫できる季節がやってきます。皆さんも、ぜひウッドパーク平尾にお越しください！お待ちしております。

(もりみの)



▲ 1日森のようちえんの様子

## ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～ (その8)

### 「エゾだけどミカワにも」

今回は、ウッドパーク平尾を整備することにより、観察できるようになったトンボを紹介します。

お盆ごろになると、黒く光って飛びまわるトンボをみかけるようになります。それはエソトンボ科の仲間です。名前の「エゾ」とは「蝦夷」に由来します。実際に北海道を中心に、どちらかといえば寒い地域に分布が多いのが、このトンボの仲間の特徴です。

しかし、種によっては全国的に広く生息しており、例えばウッドパーク平尾でもっともよく観察できるタカネトンボ(写真)は、北海道から九州まで広く生息しています。

エソトンボ科の特徴は、なんといっても体色です。胸部などは独特の金緑色で、トンボ愛好家はなんとも思いません。しかし、観察して不気味がる人も…

東三河地域の平野部では、樹林に囲まれた池や湿地で見かけないので珍しいトンボだと感じてしまいますが、奥三河地域の標高が高いところでは、開けたところでも普通に観察することができます。筆者も9月に茶臼山高原の萩太郎山展望台でタカネトンボを複数匹観察しました。なお、

タカネは漢字で「高嶺」と書き、標高の高いところでよく観察できることから名づけられています。

ただ、気になることがあります。2023年と2024年の2年間、夏から秋にかけて記録的な猛暑が続きました。この間ウッドパーク平尾では、エソトンボ科の仲間の観察回数が極端に減ってしまいました。2025年の夏から秋はどういう気候になるかわかりませんが、トンボは、里地環境の変化の指標となる生き物です。注視したいところです。

(もりみの)



▲ 金緑色に輝くタカネトンボ♂

# 穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その29  
「乳岩峡」  
中西 正

## 乳岩峡自然観察会

2015.5.17

JR飯田線三河川合駅から乳岩までの間には赤沢の集落がある。家と家の間には畑があり、梅や茶が植えられていることが多い。この梅を見つけると、木の下に入りたくなる。ウメの枝に着く植物を見るため、その樹皮には白いカサカサのものが多く着いている。ウメノキゴケで、一時よく環境の指標に使われた。悪い環境では着かないという。他にノキシノブは定番で、クモランも多い。クモの肢のような細い根をウメの枝に這わせている。カヤの葉のような葉を持つカヤラン、花穂を伸ばすヨウラクランもウメの伸びた枝の裏側に生えている。今回は、この集落の上部から乳岩に向かった。



▲クモラン



▲カヤラン

上流に宇連ダムがある宇連川を渡り、その支流の乳岩川が流れ込む地点からの観察だった。この川の川床は板を敷いた様に平らなことが多く、それを造る岩は明るい色で白かった。この岩は流紋岩質凝灰岩といわれ、その起源は火山灰であるという。そこを流れる水は澄んでいてきれいである。この川沿いはコナラを主体とした落葉樹の群落で、オオカメノキやモチツツジ、シロモジなどがある。アラカシなどの常緑樹も目立ち、中にイチイガシも混っていた。

車道の最奥に売店があった。ここから乳岩までが乳岩峡と言われ、登山道になり、最初は凝灰岩でできた川原の岩の上に行く。しばらくして川原から離れた所に国指定名勝天然記念物「乳岩及乳岩峡」という石碑が建っている。ここから巨岩の間を上ることになる。30分ほど登った乳岩周辺にはシイやカゴノキなどが生えていた。



▲乳岩川

乳岩では、岩の間を急なはしごで登り、天然の石門である通天門に出るが、ここが頂上である。その後は

反対側にははしごや、崖の縁を通って下る。途中、鍾乳洞の乳岩を見る周回のコースになっている。この大部分は岩場で、岩場に着く植物の観察場になっている。まずウラジロギボウシがある。



▲鍾乳洞

水気が多い場所に生えると思われるギボウシの仲間が、岸壁に生えており、生態的に興味深い。葉の裏が白い特徴がありこの名がある。通天門辺りで上を見上げるとセッコク、フウランが見られる。すごい岩場で、盗掘されることなく残ったと考えられる。昔は、ラン科植物ももっと身近に生えていたと思われるが、現在ではこのような場所で見られなくなった。この岩場のどこかにマツバランも生えている。この植物は体の構造が単純なシダの仲間である。乳岩頂部の特徴は草本だけにあるのではなく、木本にもある。岩場は土壌条件が劣悪で、それに合った植物しか生えない。このため特有の植生になり、ゴヨウマツの群落が見られる。また、この地域の岩場にはホソバシャクナゲやヒカゲツツジなどが生える。

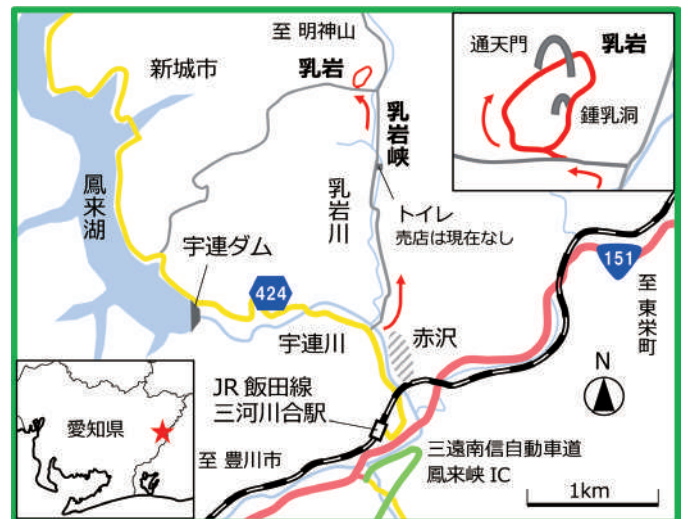
この地域は地質や地形が独特で、それに合った植生が観察できるコースであった。



▲ホソバシャクナゲ



▲ヒカゲツツジ



# イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。  
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。  
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

定期開催しています!

## 「穂の国シュタムティッシュ」

●令和7年度から第1金曜日に変更します

令和7年：4月4日、5月2日、6月6日、7月4日

時間：午後6時半から午後8時半

場所：「ピアホール独逸」豊橋市大橋通3-144

対象：どなたでも

事前申込：原則不要ですが、できれば事前に事務局までご連絡をお願い致します。

会費：実費(4,000円程度)



### 【参加について】

森づくり、アウトドア活動、スポーツなど、自然が好き  
な方々であれば誰でも参加可能です。自分の活動の告知  
や仲間集め、こんな企画をやってみたいとか、単にお酒  
が飲みたいだけでも参加OK。特に議題は決めること  
なく、お酒を酌み交わしながら今後の活動のヒントが  
お互いに得られればという、とてもゆるい会です。

定期活動やっています!

## 「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日(変更になる場合があります)

令和7年：3月15日、4月19日、5月17日

集合：午前10時にウッドパーク平尾

※初参加の方は、事務局へご連絡ください。

詳しい場所などをお知らせ致します。

終了：午前11時半頃(その後は自由解散です)

対象：個人会員(家族でご参加歓迎)、団体企業会員

作業内容：草刈り、ピオトープ整備、生物観察、  
健康づくり講座、ピザ焼き体験など

持ち物：長靴、軍手、飲料、タオルなど

その他：雨天中止の場合は、前日の11時の天気予報  
で決定しご連絡します。ご参加の方は事前  
に事務局にご連絡ください。

### 【お願い】

「ウッドパーク平尾」の場所は、一般公開していません。  
Web上のマップへの登録は、お控えください。

# 企業の森づくり応援します!

森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくりや作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した社員研修や環境教室
- 愛知県産の木材を活用したイベント等

様々なご要望に応じて応援させていただきます。  
穂の国森づくりの会事務局へお気軽にお問合せください。  
Tel.0532-55-5272 honokuni@honokuni.org



## 光設備工業株式会社

〒440-0076 豊橋市大橋通三丁目1番地  
Tel (0532) 55-8201 Fax (0532) 55-8202  
E-mail: hikari-s@mx2.sala.or.jp

- 営業種目 ■ 給排水衛生設備工事 ・ 空調設備工事  
・ 上下水道本管 各種工事の設計、施工及び請負

創業昭和37年 外壁塗装・屋根塗装 専門店

# 職人直営 有山村塗装店

私たちと一緒に森へいきませんか?  
穂の国森づくりの会会員大募集!!  
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費10円以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。  
会費：個人会員10・3,000円 / 団体企業会員：10・12,000円  
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで  
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org



この印刷物には、環境に  
配慮した植物性大豆インキを  
使用しております。